

## 第 2 次 にのみや男女共同参画プラン（骨子案）への意見・提案

### 1. 将来像への意見・提案

- ・ 現行の総合長期プランの将来像にある「みどりと優しさと勇気あふれる町湘南にのみや」といった体裁だけ整えたようなスローガンは、個人的に好きではありません。例に挙げていただきましたスローガンは、イメージの湧きやすいものでよいと思います。

#### 【案 1】「男女が共に支え合う心豊かなまち 湘南にのみや」・・・

- ・ ロゴマークのように男女が様々な場面で支え合い協力しながら明るく心豊かな二宮になってほしいとの願い。

#### 【案 2】「男女が共に創る心豊かなまち 湘南にのみや」・・・

- ・ 藤沢の将来像（「心」の一文字が違うだけ）と同じようになってしまいましたが、「共に創る」という文言に男女が各々の持てる力を存分に発揮して心豊かな町を創っていくのだという意気込みを感じます。このような行動目標的な将来像も良いのではないのでしょうか。

### 2. 基本理念への意見・提案

- ・ 「女性に対する暴力等の根絶」とあるが、DV暴力は女性に限ったものではないので、表現の方法をどちらの性別にも受け取れるようにした方がよい。
- ・ 「女性への暴力」が圧倒的に多いという状況を踏まえての取組みなので、あえて「女性」と表現することにも意味があると思う。
- ・ 現プランの「多様な生き方ができる男女共同参画社会の実現」というのは、すごく重要なことだと思います。男・女という性別の前に、人権（個人）の尊重が重要だと思います。これが素地として築かれていることが、男女共同参画社会の実現に必要なことだと思います。例の中の①「男女の…」という表現が気になりました。

### 3. 施策への意見・提案

#### 【育児支援等に関する施策】

- ・ このまま少子高齢化を放っておくと町は停滞してしまうので、活性化させるためには若い世代の流入を図ることが不可欠と思う。子育て世代の流入を図るため、「幸福度」を高めるような施策を実施できるとよい。若い世代が安心して暮らせる町を目指すことも必要になると思う。

### 【働く場への参画に関する施策】

- ・ 高齢化に伴う労働力の低下、地域活力の低下を鑑みると、「ワーク・ライフ・バランス」により、女性が働きやすい環境を整えること、男性も家庭や地域での役割をより担えるようにすることが大切です。（「職場」を変えるのは行政として難しい部分かと思いますが…）

例)

- ・ 青色申告会？・商工会議所の会合など地元事業者さんが集まる場を借りての周知（社会保険労務士さんとの連携も？）（他自治体では企業に継続的に講師派遣の例あり）
- ・ 残業せずに帰ろうと思えるような家族で楽しめる地域イベント（商店と連携、ファミリーの買い物に優遇など、世田谷区事例あり）
- ・ 神奈川県が子育て世帯の買物などを優遇する「サポート事業」をしているならそれに相乗り

### 【DVの防止等に関する施策】

- ・ DV防止法制定に伴う「DV対策の充実」が必要かと思います。

例)

- ・ 相談窓口の周知（公共施設等のトイレ個室への貼紙が効果あるのか他自治体で見ました）
- ・ 次世代育成支援との連携
- ・ 救済・更正における他自治体との連携 など

### 【教育等に関する施策】

- ・ 男女共同参画という考えを広げるために、学校教育（例えば、総合学習の時間）の「授業」として行っていただきたいです。町立だからこそできる教育があると思います。

### 【全体】

- ・ 現行プランでは、取組みの目的が重なっている取組み（予算事業）が多くあるので、こうした取組みはまとめて一つにできるとよい。
- ・ 現在、男女共同参画の事業は、各課の事業を男女共同参画事業として位置付けて実施している状況だが、事業課では、「〇〇事業」とあっても実際に行う「内容」は毎度同じではない。そこに、男女共同参画として行ってほしい「内容」を実施していただくというのはどうか。
- ・ 65歳以上の高齢者をそれ以外の世代が、一人で一人背負わなければならない社会が目前に迫っている。「福祉課」や「高齢障がい課」に関する取組みに

については、別の所管課で行うものとして計画に含めない考えもあるとのことだったが、町民の高齢化が深刻化する中で何も触れないというのはおかしいと思う。

#### **4. その他プラン全体への意見・提案**

##### **【アンケート結果の引用】**

- ・ アンケート結果概要にある「前回調査との意識の比較」に見られる意識の変化等については、第1章の「社会の変化と町の現状」の中で表わせられるとよい。

##### **【プランの各項目（「基本理念」や「重点目標」など）の定義】**

- ・ 国や県、他市町村のプランを調べたところ、プランの体系はさまざまに明確な定義はなく、必ずしも「基本理念」と「基本方針（重点プラン）」はリンクしてなければいけないわけではない。
- ・ 骨子案では上位計画である県のプランの表現を合わせた。
- ・ 「重点目標」という表現だと、重点的に取り組む「目標」と、それ以外の「目標」とがあるように感じる。

##### **【PR】**

- ・ アンケート結果にもあったが、男女共同の取組みをあまり知られていないようなので、なるべくすべての町民にわかりやすく表現できるとよい。
- ・ 1～2枚のボリュームで良いので、「ダイジェスト」作成してみてもどうか。ホームページに掲載することでも啓発につながると思う。プランに位置付けた事業を実施する際に配ってみるのもよい。
- ・ 効果の高い周知方法としてラディアンの掲示板にチラシを貼れば高いPR効果が得られると思う。
- ・ 毎月の広報紙に標語のようなものを掲載することでサブリミナル効果を狙うというのも手と考えられる。
- ・ 年代によっては自然に「男女共同参画」ができていく層もある。年代別で偏った固定的な概念があると思うので、その払拭を図ることは今後の課題になると思う。あらゆる世代に浸透しやすい「男女共同参画」を推進し、理解を図ることで世代間の意識の乖離を防ぐことができると思われる。
- ・ 会議中に少し出ていました若者への周知ですが、（個人的な印象です）若者は、自分のほしい情報だけを得ようとする傾向があるように感じます。町が何をしているか、少しでも知ろうとしていないと、知らなかったり情報を見過ごしたりすると思います。

- そこで、若者の関心どころの一つとして、「どう生きるか」「自分らしく生きる」というのがあると感じています。どう生きるかというのは、各世代が考えるテーマかもしれません。これが、「ワークライフバランス」に関連していると思いました。このテーマを全面とまではいかずとも、タイトルに掲げると事業に参加する人が増えるかもしれません。
- 図書館を利用する人は、目的の本を借りに来る人もいますが、「何かいいものないか」と来る人もいます。そんな人をターゲットに、図書館では実践済みですが、あるテーマに沿ったコーナーをつくり、関連本を置いています。これを利用し、男女共同参画もテーマの一つに入れていただき、ワークライフバランスや自己啓発など、図書館司書の方に理念をお伝えすれば、それにふさわしい本を選び出すことは可能だと思います。